

Joint Symposium between Indonesia and Japan on Nuclear Applications

日程：2020年11月11日～12日

場所：オンライン（Cisco Webex）

主催：原子力委員会、インドネシア原子力庁（BATAN）

運営協力：日本原子力産業協会

両国の原子力技術及び放射線利用分野における研究・高等教育機関間の交流の促進を図るとともに、当該分野の研究開発の進展及び国際的な人材育成・確保に貢献することを目的としたシンポジウムを開催します。

基調講演

岡 芳明 原子力委員会委員長

アンバリヤント ディポネゴロ大学 副学長

アンハル・リザ・アンタリクサワン インドネシア原子力庁（BATAN）長官

分野別プレゼンテーション

各大学の専門家から、自身の研究内容と所属大学の紹介を実施します。

<原子力工学分野>

日本側：北海道大学（熱流体力学実験）、東京大学（複雑系物理シミュレーション）、東京工業大学（原子炉物理）、電気通信大学（溶融塩炉）、早稲田大学（炉システム設計と安全）、長岡科学技術大学（原子炉材料）、福井大学（燃料）、京都大学（研究炉）、大阪大学（原子炉物理）、九州大学（原子炉物理）、JAEA（原子力安全）

インドネシア側：BATAN（原子力工学）、バンドン工科大学（高速炉）、ガジャマダ大学（原子力工学）、ディポネゴロ大学（核融合、放射線防護）

<放射線利用分野>

日本側：群馬大学（重粒子線治療）、東京大学（加速器質量分析）、長岡科学技術大学（点欠陥）、福井大学（放射線損傷）、大阪大学（アルファ線、放射線測定、BNCT）、QST（放射線治療）

インドネシア側：BATAN（RI）、ディポネゴロ大学（放射線核種、地層年代測定、放射線治療）、セベラスマレット州立大学（放射線の農業利用）、サティヤワカナクリスチャン大学（BNCT）

参加方法

1

事前登録制です。下記URLからアクセスの上、必要事項を入力してください。

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mhrf-ldoasb-2bc59c263677487ff1699b15ff8ef13d>

2

お申込み時に登録したメールアドレスへ**参加者専用Webサイト**をお知らせします。そちらから御参加ください。（※参加者専用Webサイトに本イベントに関する詳細な情報を掲載しておりますので、事前に御確認ください。）